

支援学校 松崎分校  
生徒製作品を販売



生徒の作品を販売した青空市

＝松崎町松崎の俳句交流館

県立東部特別支援学 校伊豆松崎分校の生徒が製作した木工品や陶

芸作品を販売する「青空市」が24日、松崎町

松崎の俳句交流館で開

かれた。

地元住民と交流し、地域に貢献しようとの初の校外開催。生徒は農園芸、木工、陶芸の3班に分かれ、企画やデザイン、工程などを自ら考えて約20種類の商品を用意した。

木のつるを編んだかごや校内の畑で育てた花、木製の本立てなど工夫を凝らした作品を陳列。生徒は「いらっしやいませ」と大きな声で呼び掛け、来店者に商品の概要を熱心に説明した。

静岡新聞

2月25日

# 特支松崎 初の校外市にぎわう

県立東部特別支援学 生徒たちが手作りした  
校伊豆松崎分校は24 「木工」「陶芸」「農  
日、松崎町松崎の俳句 園芸」の多彩なグッズ  
交流館を会場に初の校 約250点を販売し、  
外「青空市」を開いた。 お目当てを買い求める



初の校外「青空市」会場で花の苗や木工・陶芸品を  
買い求める来場者たち＝松崎町松崎の俳句交流館

多くの町民でにぎわった。

例年、校舎前で開催していた生徒たちの「手作り市場」を、より身近に感じてもらおうと町中に出向いて行った。

黄色や紫色のパンジーの苗をはじめ、木製の本立て、箸置き、コースターのほか、料理などに役立つ大皿や丸皿などがずらり。生徒たちはレジや接客も熱心にこなし、盛況だった。

イベントに先立ち、PRチラシを製作した。交流館や学校、町役場の周辺にある家庭などに自分たちで配布もし、来場を呼び掛けた。

伊豆新聞

2月25日